住民要求実現の力さらに

宝の議席 2027統一地方選

神奈川県議会で日本共産党は総定数105のうち２議席しかありませんが、県民の切実な問題を取り上げ、着実に成果を上げてきました。県民の期待は大きく、６月定例会の井坂しんや議員の一般質問の際は、100人以上が傍聴に駆けつけました。27年の統一地方選には、交渉会派となる４議席以上を目標に、現職の井坂しんや（54）＝横須賀市、定数４＝、木佐木ただまさ（42）＝横浜市鶴見区、同３＝の両氏に加え、いずれも新人の、おおば裕子（65）＝川崎市中原区、同３＝、香西りょうこ（52）＝横浜市港北区、同４＝、のずえ明美（61）＝川崎市高津区、同３＝、山口かなこ（46）＝藤沢市、同５＝の計６人が挑戦します。

神奈川県議会　６氏挑戦

現在、全ての主要会派が知事提出のほぼ全ての議案に賛成する〝オール与党〟に近い状況の中、共産党はリニア中央新幹線建設など環境破壊につながる不要不急の大型開発や県立障害者施設「中井やまゆり園」の地方独立行政法人化など、県民の利益にならない事業には、きっぱりと反対。一方で住民や団体から聞き取った要求を議会に届け実現してきました。

来年の選挙で勝利を目指す（後列左から）木佐木、香西、井坂、（前列左から）山口、のずえ、おおば、の各氏

学生の声取り上げ

県立保健福祉大学（横須賀市）の学費負担軽減は、食料支援に来た学生から寄せられた声を議会で取り上げるなど共産党が粘り強く求め続け、25年度から入学金が半額に、給付型の奨学金も創設されました。市町村の行う高齢者の補聴器購入助成に県が補助する制度や中小企業の賃上げ支援なども実現してきました。

県当局に申し入れをする井坂（右）、木佐木の両氏＝2日、神奈川県庁

共産党は現在、交渉会派ではないため本会議での代表質問ができず、議席数に応じて割り振られる一般質問も今期は1年に1回しかできませんでした。共産党の議員が増えれば、委員会への配置も増やすことができ、住民要求実現の力がさらに大きくなります。

共産党存在感放つ

平和の問題でも共産党は存在感を放っています。神奈川県は米海軍横須賀基地・厚木基地、米陸軍キャンプ座間・横浜ノースドックなどがある、沖縄に次ぐ第2の基地県で、米国追随で大軍拡を進める高市政権の下で「戦争に巻き込まれるのでは」と県民の不安も高まっています。しかし黒岩祐治知事は、外交・防衛の問題は「国の専権事項」だという姿勢です。共産党だけが「住民の暮らし、安全と平和に関わる問題は地方自治体として声を上げるべきだ」と正面から訴えています。

イラン戦争では、米海軍横須賀基地所属のイージス艦2隻が国際法違反の先制攻撃に加わっていました。県内の基地が出撃拠点として使われ、日米安保条約に定められた事前協議もなかったことに抗議もしない日本政府に追随する知事を批判したのは、共産党だけでした。

税金の使い方を正し県政をチェックする役割も重要です。県議会では毎年一つの常任委員会が海外視察を行っていますが、15年にベトナムへの水ビジネスの視察に共産党が反対して以来、「共産党とは県民福祉の向上に資する考え方が違う」と共産党議員を視察から排除する異常事態が続いています。

今年の6月議会では約1700万円を使ってマレーシアのペナン州へ議員8人を派遣する議案を可決。「3年前にも行ったばかりで行事に招かれているわけでもなく、物価高のなかで県民の理解が得られない」と反対したのは共産党だけでした。

議会運営を改善し、住民要求実現のために市町村を応援する県政に変えるため、何としても選挙勝利をと、各県議・候補とも全力で頑張っています。

地域発

ニュース、写真、催し案内などのご連絡は下記へ

東日本総局（仙台）
電話 022（224）9565
FAX 022（224）9566

首都圏総局（東京）
電話 03（3353）4708
FAX 03（5379）2419

東海・北陸信越総局（名古屋）
電話 052（262）0476
FAX 052（264）0285

関西総局（大阪）
電話 06（6796）8471
FAX 06（6796）8472

西日本総局（福岡）
電話 092（411）5395
FAX 092（411）5373

熊本地震救援募金に応じる女性＝29日、大阪市

熊本地震　救援・募金を

共産党大阪府委が呼びかけ

日本共産党大阪府委員会は29日、大阪市の京橋駅前で熊本地震被災者の救援と募金を呼びかけました。

駒井正男府委員長が「10年前の熊本地震で災害関連死が直接死の4倍になった反省を生かし、政府に救命・救急と避難者支援の抜本的強化を求める」と強調。「大阪でも地震対策に総力をあげるべきだ。大阪市廃止の『都構想』や巨大開発・カジノに税金をつぎ込む『副首都』構想はやめて、府民の命と暮らし、営業を守る大阪に変えよう」と訴えました。

大阪市旭区の吉村幽美代さん（79）は「熱い中、水の支給を見ていたら涙が出ます。早く元の生活に戻ってほしい」と話しながら募金。「熊本出身で親戚もいるので心配」という小川真由美さん（62）は「避難所や家にいる人にもしっかり物資や支援を届けてほしい」と話しました。

障害者福祉充実求める

仙台市長に大行動実行委要望

障害者団体や支援団体など38団体でつくる「みやぎアピール大行動実行委員会」は27日、郡和子仙台市長に障害者福祉の充実を求める要望書を提出しました。

鷲見俊雄代表が郡市長に要望書を手渡し、同実行委員会は応益負担を導入した障害者自立支援法の反対運動の中で立ち上がったと説明。「総合支援法に変わったが、基本の枠組みは変わらず、残念ながら僕たちの思い描く共生社会は実現していない。市長の考える障害者福祉を率直に聞きたい」とあいさつしました。

聴覚障害者の女性は、選挙の投票所への手話通訳者派遣を求めているが実現しないと指摘し、「筆談を求められるが、苦手な人もいる。コミュニケーション支援ボードも文字が多くわからない。平等に投票できる機会を」と訴えました。

車いすを使う男性は、障害者の旅行について「事前のリサーチが必要で難しいと諦めてしまう人もいる」とし、アクセス経路や宿泊施設、商業施設、飲食店のバリアフリー化を要求しました。

郡市長は「切なる思いとして受け止める」と回答。同要望書は、15項目35点と多岐にわたります。

要請には、日本共産党のふるくぼ和子、高見のり子両市議ら7人の市議が同席しました。

PFAS除去へ市は支援を

浜松 汚染を考える連絡会会見

浜松市の航空自衛隊浜松基地周辺の河川などから高濃度の有機フッ素化合物（PFAS）が検出されている問題で、浜松PFAS汚染を考える連絡会は27日、浜松市役所内で記者会見を開きました。今年4月に実施した浜松基地周辺を含む市内在住の50人の住民が参加した血液検査の結果を公表しました。

代表の聞間元（ききま・はじめ）医師は、基地周辺の井戸水を使用する住民から米国科学アカデミーの基準値を超える血中濃度が検出されているとして「井戸水使用にはリスクがあります。市としてPFAS除去装置設置の公的な支援が必要」と求めました。

オブザーバーの辻野兼範氏は「市は井戸の場所や深さを把握しています。市として個別に対応するべきではないか」と述べました。

分析に当たった京都府立大学の原田浩二教授（環境衛生学）は「基地近くの井戸水を飲用することを避けていただければ、住民の暴露が高くなることはないと思われる」とのコメントを寄せました。

会見する浜松PFAS汚染を考える会のメンバー＝27日、浜松市

被爆体験を語り継ぐ

新婦人広島県本部

『木の葉のように焼かれて』朗読会

新日本婦人の会広島県本部は28日、広島・長崎の被爆体験を語り継ぐ被爆体験集『木の葉のように焼かれて』の第60集発行を記念した「朗読の会と原爆展」を広島市で開き、100人超が朗読に聞き入りました。

会場には「原爆と人間」のパネル写真や基町（もとまち）高等学校の生徒と被爆体験証言者との共同制作による原爆の絵、『木の葉のように焼かれて』のバックナンバーが並んだブースのほか、憲法9条改悪反対の請願署名や日本政府に核兵器禁止条約の参加を求める署名コーナーなどを設置しました。

朗読に聞き入る人（奥）や署名に応じる若者（手前）＝28日、広島市

村上厚子会長は、1964年の第1集から延べ859人の被爆体験を収録してきたと紹介し「100人の被爆者がいれば100通りの被爆体験がある」とあいさつ。多くの人に手に取ってほしいと呼びかけました。

第1集の被爆者、名越操さんの手記『木の葉のように焼かれて』など計六つの手記を同体験集の編集委員らが朗読しました。

友達に誘われて姫路市から参加した60代女性は「被爆者の苦しみや不安な気持ちが朗読からよく伝わり、心を打った。被爆地ヒロシマのみなさんが続けてきたことは大きな意味があると感じた」と話しました。

迫る 高知・越知町議選　8月4日告示 9日投票

住み続けられる町へ

高知県越知町議選が8月4日告示（9日投票）で行われます。日本共産党は現職の上岡ちせこ候補（75）が現有1議席確保、2期目をめざします。定数10に11人が立候補する見通し。

上岡ちせこ候補（75）＝現

党の町民アンケートでは「暮らしむきが悪くなった」52・2％、「将来の見通しが不安」75％で、町政への要望は「介護保険料引き下げ」「地震・災害対策」「国保税引き下げ」「地域医療の充実」などが上位。

上岡候補はこの4年間、積極的提案で暮らしを守るために奮闘し、▽小中学校の給食費無償化▽高校生の通学のための定期代、寮・下宿・アパート代の2分の1補助▽学生への給付型奨学金の増額▽大学への入学支度金の創設▽奨学金の返還支援▽訪問介護へ補助▽耐震改修への補助▽子育て、若者世帯の新築・リフォームへの補助―などを実現してきました。

住み続けられる越知町へ▽南海トラフ対策で避難所、避難道の整備▽加齢性難聴の補聴器購入費助成制度の創設▽保育・介護・医療などケア労働者の処遇改善―などを公約に掲げます。

憲法をふまえた皇位継承のあり方とは――

天皇の制度と日本共産党の立場

志位和夫

天皇の「代替わり」（2019年）にあたり、天皇の制度について日本共産党の立場を述べたインタビューです。日本国憲法の条項と精神にてらせば、天皇は、多様な性をもつ人々が構成する日本国民の統合の「象徴」なのだから、女性天皇や女系天皇も認められるべき、と述べています。

A5判48ページ
定価285円（本体259円+税）
送料100円
ISBN978-4-530-01683-0
［2019年発行］

目　次

この機会に大本から考えたい――日本国憲法と改定党綱領を指針に
なぜ「君主制の廃止」という課題を削除したか
天皇の制度の現在と将来にどのような態度をとるか
天皇の制度についての綱領改定がもたらした積極的意義について
制限規定を厳格に実施し、憲法の条項と精神からの逸脱を是正する
元号について――どう考え、どう対応するか
「皇室典範」にかかわる問題――天皇の退位、女性・女系天皇について
憲法９条改定への天皇の政治利用を許してはならない
天皇の「代替わり」にともなう儀式に関する申し入れ（抜粋）

日本共産党中央委員会出版局　〒151-8586　東京都渋谷区千駄ヶ谷4−26−7
TEL 03-3470-9636　FAX 03-3470-1505　Eメール book@jcpmp.or.jp

“Marxist”の先行予約販売開始！

先行予約特典はマルクス名言しおりセット！

『経済学・哲学草稿』から生まれた
赤いクラフトリキュール

未来社会を目指すみなさんを励ます
お酒をつくりました。

【製造コンセプト】
マルクスが生きた19世紀の薬草酒"Elixir"とチンキを着想に、彼が親しんだとされるワインと、赤を象徴するルバーブを中心に構成。情熱的でありながら穏やかな、平和を願う薬草酒に仕上げました。

【楽しみ方】
味わいとしては、ヴェルモットとアペリティーボの中間を思わせるスタイル。
そのままはもちろん、炭酸飲料と1：1で合わせた「Americano Style」もおすすめです。

【商品情報】
品目：リキュール
内容量：500ml
アルコール分：25度
原材料：赤ワイン（スペイン製造）、スピリッツ、砂糖、ルバーブ、ハーブ類
販売価格：5,940円（税込）
製造者：株式会社Fame's 白浜蒸留所　静岡県下田市白浜1520

20歳未満の者の飲酒は法律で禁止されています。

化粧箱入り！記念品にも最適です！！！

すてら堂 for Marxist

※別途送料がかかります

東芳紙業株式会社
東京都千代田区神田神保町2-2-34　☎03-6679-2577
（受付時間：平日10~17時）

★ご注文はQRコードからまたはお電話で